

慈愛の人良寛

その生涯と書

いつもほほえみをたたえ
人々に慈愛の心で接した良寛さんの
やさしい心にふれてください。

新潟県燕市国上山にある五合庵
写真/弓納持福夫

2017年9月29日|金|~11月5日|日|

前期 | 9月29日(金)~10月15日(日)
後期 | 10月17日(火)~11月5日(日)

※会期中約20点の展示替をします。

開館時間 | 9:00~17:00 入館は閉館の30分前まで
(9月29日(金)は10:00~19:00 / 10月27日(金)は19:00まで開館)
休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日)

主催 | 岡山県立美術館、山陽新聞社
後援 | 岡山県教育委員会、倉敷市教育委員会、(公財)岡山県郷土文化財団、
公益社団法人岡山県文化連盟、全国良寛会、岡山県良寛会、NHK 岡山放送局、
RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、
KSB 瀬戸内海放送、oni ビジョン、倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビ放送、FM岡山、
レディオモモ、エフエムくらしき

観覧料 | 前売券：一般800円、65歳以上700円 [9月28日まで販売]
当日券：一般1,000円、65歳以上800円、大学生500円、高校生以下無料
※年齢を証明できるものをご呈示ください。20人以上の団体は当日券の2割引
前売券販売場所：山陽新聞社サービスセンター、岡山県内の主要プレイガイド、
セブンイレブン(セブンコード：057-344)、ローソン(Lコード：61435)、
チケットぴあ・サークルK・サンクス(各店共通Pコード：768-550)



良寛さんは子どもらと
手まりをついたりかくれんぼをして、
子どもらを慈しみました。

自画賛 良寛像 袖裏繻毬直千金(部分)



良寛所持 鉢の子

良寛さんは鉢鉢をしながら
野の花摘みに夢中になり
ときに鉢の子を
置き忘れることも。

良寛ゆかりの地である岡山において、彼の書と生涯の魅力を満喫できる絶好の機会。

良寛（二七五八―一八三三）は詩歌・書に優れた托鉢僧で、越後（新潟県）出雲崎生まれ。

同地を訪れた備中（岡山県）玉島円通寺の国仙和尚に従って同寺に入り、十年余りの修行ののち諸国を行脚して帰郷。

生涯寺を持たず、名利にとらわれぬ生活を送り、清貧の中ですべての生けるものへの愛を失わず、子どもと戯れ、友と語り、

和歌を、漢詩を詠み、書に興じた人でした。

本展では日本有数の良寛コレクター秘蔵の作品を中心として

およそ百五十点からその魅力に迫ります。

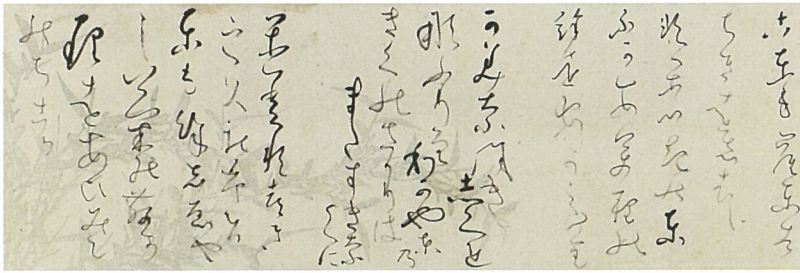
良寛

慈愛の人良寛 — その生涯と書



良寛さんは、倉敷市玉島の円通寺で十七年間修行し、立派な禅僧になりました。

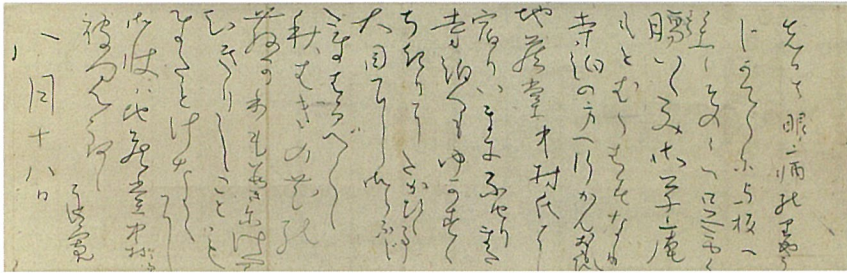
茂木弘次 良寛上人像



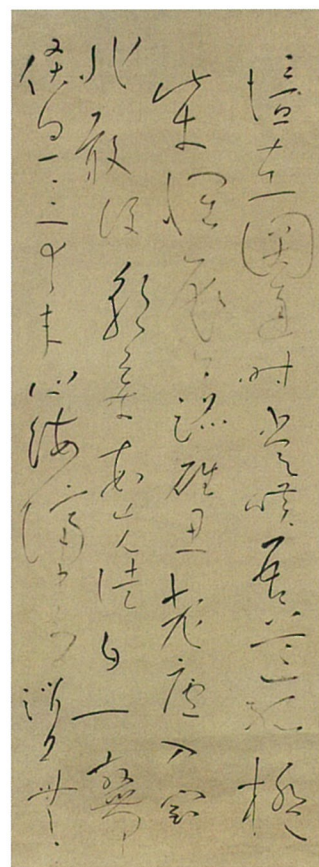
和歌 こともらと他

良寛さんが子どもらにはしきをしたとき
詠んだ和歌

晩年の法弟
貞心尼への手紙



書簡 貞心尼宛 先日は眼病の



師・国仙和尚への感謝の思いを綴った詩

漢詩 憶在圓通時

良寛の師・玉島円通寺住職
大忍国仙和尚書



国仙和尚筆 龍

■ 展覧会関連事業

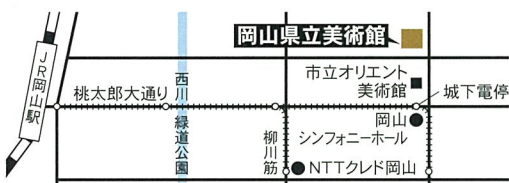
- 記念講演会「良寛の生涯と書」〈聴講無料〉
9月29日㊤ 13:30～15:00 小島正芳氏（良寛研究者・全国良寛会副会長）
会場：2階ホール〈先着210名〉
- フロアレクチャー〈要観覧券〉※各40分程度
9月30日㊤ 10:30～、14:00～ 小島正芳氏
10月8日㊤、29日㊤ 各14:00～ 当館学芸員
- 美術の夕べ「良寛の魅力」〈要観覧券〉
9月29日㊤ 18:00～

■ 同時開催

- 小田宏子展・岡山の美術展 第6期／会期：9月26日㊤～11月5日㊤
良寛展会期中（9月29日㊤～11月5日㊤）は、本展チケットでご覧いただけます。

交通のご案内 [JR岡山駅後楽園口（東口）から]

- 徒歩：15分
- 路面電車：東山行「城下」下車徒歩3分
- 宇野バス：四御神／瀬戸駅／片上方面行「表町入口」下車徒歩3分
岡山後楽園行「岡山県立美術館」下車すぐ
- 岡電バス：藤原団地行「天神町」下車すぐ
- 循環バスめぐりん：「表町入口」下車徒歩3分



岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART